

MONTHLY SUPPORTER

あなたの月々のご支援が、 持続可能な佐賀の未来を創ります

佐賀県では、様々なCSOが、行政サービスでは対応できない地域課題に立ち向かい、県内の資源「ヒト・モノ・カネ・ジョウホウ」の循環型で持続可能な社会の確立に向けて活躍しています。

彼らの活動を支援し、どんな境遇の人たちも取り残さない社会にするために、ご協力いた

ご寄付は、下記の取り組み等の推進の為に
活用させていただきます



さが・こども未来応援
プロジェクト



エリアマネジメント



佐賀災害支援
プラットフォーム



事業評価導入支援研修

マンスリーサポーターになる

月額1,000円よりご支援をお願いいたします。

銀行振込・クレジット決済での寄付のお手続きがオンラインでできる、寄付決済ページをご準備しております。

下記の寄付決済ページにて、「支援の種類」から「基金応援寄付(さがつくサポーター)(毎月)」を選択いただき、手続きを進めてください。

寄付決済ページアドレス

<https://goo.gl/7UdtXv>

スマホの方はバーコード
をスキャンしてください⇒



マンスリーサポーター及びご寄付についてご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

あなたの志金が
よりよい佐賀の
未来を創ります

2023

ANNUAL REPORT | 令和5年度 年次報告書

< 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日 >

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

【SDGsとは】
2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。

公益財団法人 佐賀未来創造基金

(愛称:さがつく)

〒840-0813

佐賀市唐人二丁目5番25号

TEL 0952-26-2228

URL: <https://saga-mirai.jp/>



公益財団法人
佐賀未来創造基金

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



公益財団法人
佐賀未来創造基金

わたしたちの使命

当法人は、あらゆる人たちが主体的に地域の未来を担い合うために、
必要な資源を循環させる仕組みをつくり、
地域で支え合う社会の実現に寄与することを目的としています。

代表あいさつ



公益財団法人 佐賀未来創造基金
代表理事 山田 健一郎

佐賀の未来を一緒に創る ～ご縁をカタチに！地域資源循環型社会へのチャレンジ～

みなさまこんにちは！ 佐賀未来創造基金（愛称/さがつく）代表の山田健一郎です。

さがつくはおかげさまで、創設10周年を迎えることができCSO交流会やさがつくアワードなどで顔を合わせるたびに、CSOをはじめ、行政・企業、そして支援者のみなさまのおかげで、地域で少しずつ進めているのだと改めて感謝申し上げます。

10年を振り返り、立ち上げからプロボノなどのお金だけではない価値をいかに作り出していくかにチャレンジして、プロボノや伴走支援の地域での寄り添った支援と共創や共育のあり方を模索しながら挑戦してきました。

そのなかで地域の1000団体を超えるCSOを核とした、地域課題解決の担い手である企業や連携パートナーである行政や金融機関なども地域のあり方についてのコミュニケーションを行っています。

重点プロジェクトとして「こども」「コミュニティ」「災害」関係事業をやっていくなかで、『人』の大切さを改めて感じています。

災害やコロナなど緊急対応などの苦しい時期もありましたが、これまでに1000団体を超える助成事業をはじめ、セク

ターを超えた連携事業や交流会、学び合い育ち合いの場づくりなど様々な人づくり、地域づくり、仕組みづくりを行って参りました。

そのなかで子ども分野は「さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会」、災害分野では「佐賀災害支援プラットフォーム」などコレクティブインパクト事業を地域の皆様との協働・共創で作り出してきました。

おかげさまで現在ではそれぞれの分野での中核となる中間支援組織や現場の団体の方々が活躍していることに心強さと希望を感じています。

これからの11年目を迎えて私たちはこれまでの繋がりを大切にしながらも、これまでに解決できていない、地域での課題解決や価値創造に向けて新たなチャレンジを続けています。

今後はこれまでの活動の積み重ねに、さらに遺贈寄付や不動産活用、そして融資事業などにもチャレンジできるようにしたいと考えております。

さがつくはこれからも皆さまとともに頑張っていきます。

引き続きのご支援ご指導など、なにとぞよろしくお願いいたします。

※CSOとは、Civil Society Organizations（市民社会組織）の略です。佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTAといった組織・団体も含めて「CSO」と呼称しています。

※コレクティブインパクトとは、複雑化した社会的課題に対し、単一の団体のみで解決することが難しい課題も多く、CSOセクターでは様々なコラボレーションを通じて諸課題の解決に取り組んでいる。さらに、単なるコラボレーションに留まらず、CSO、企業、行政組織の枠を超えて、お互いの強みを出し合い、社会的課題の解決を目指す仕組みのことをいう。



CONTENTS

03	C S O への支援活動	09	分野指定寄付プログラムによる助成事業
04	冠寄付プログラムによる助成事業	10	助成実績／視察受入実績
06	遺贈寄付プログラムによる冠寄付助成事業 他団体との協働事業による助成事業	11	助成団体レポート
08	事業指定寄付プログラムによる助成事業	12	会計報告



2023年度の活動報告 | CSOへの支援活動

社会的課題の解決や、新しい価値の創造のための事業を行う
市民社会組織(CSO)への伴走支援事業を行っています。

■ 佐賀県誘致CSO支援

佐賀県では、様々な分野でトップランナーとして活躍している県外のCSOを誘致することにより、人材の流入や雇用を生み出すと共に、誘致CSOとの交流やノウハウの提供等を通じて県内CSOのスキルアップや、更なる地域課題の解決につなげることを目的に「**地域活性化のための県外CSO誘致事業**」を実施しています。
誘致にあたっては「佐賀県」「誘致CSO」「佐賀未来創造

基金」が3者で進出協定を締結し、県内での活動や生活のための支援、県内CSOとの交流機会の提供など、誘致CSOに対ししっかりとサポートしています。
2023年度は新しく「NPO法人芸術と遊び創造協会」、「NPO法人グッドネイバース・ジャパン」、「一般社団法人ピースポート災害支援センター」の3団体が加わり、誘致CSOはこれまでに15団体となりました。

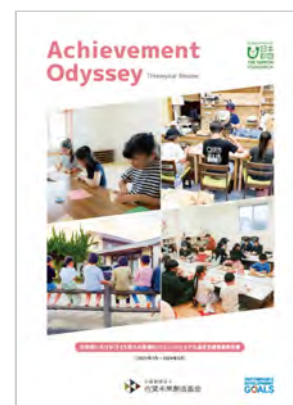


■ 子ども第三の居場所 運営支援

2021年度より、日本財団 子ども第三の居場所事業の助成を受けて、佐賀県内に4つの「子ども第三の居場所」が開設・運営され、3年目となる本年も各団体への伴走支援を実施させていただきました。
次年度より、4団体中3団体が助成期間終了に伴い自立・自走運営となることから、その実現に向けたスキルアップやファンドレイジングサポート等に力をいれてご支援させていただきました。
また、3年間の事業の成果と軌跡を取りまとめた白書「子ども第三の居場所 事業実施報告書」を作成しました。この白書を各団体にも配布し、これまでの支援者・協力者へのコミュニケーションツール、並びに、新たな寄付獲得のためのツールとしてご活用いただいています。



子ども第三の居場所 運営支援事業 特設ページ
https://saga-mirai.jp/codomo_third_place/



事業実施報告書(白書)
ダウンロード→



■ 令和5年度「CSO次世代人材育成事業」

令和5年度から令和7年度までの3ケ年、CSOの安定した事業継続のための組織体制強化に関わる支援を行うもので佐賀県県民協働課からの受託事業です。支援団体は3団体です。

- ・NPO法人温暖化防止ネット
- ・NPO法人消費生活相談支援員の会さが
- ・認定NPO法人被害者支援ネットワークさがVOISS



2023年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成事業

荏原環境プラント「第6回 e-さが基金」

荏原環境プラント株式会社様からのご寄付で、今年度も佐賀市内で環境保護・改善活動を行う事業に助成しました。また、「佐賀市ごみ発電地産地消学習支援プログラム」を佐賀市立思斉小学校の4年生3クラス計85名を対象に実施しました。さらに佐賀市の「佐賀城下栄の国まつり」では佐賀市の中心市街地で「ごみダイエット大作戦2023」を行いました。



助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
<チャレンジ事業>		
① 浅海干潟環境学lab	東与賀干潟の環境教育プログラムの拡充	500,000
② 佐賀環境フォーラム環境教育班えこい	児童向け環境教育活動	150,000
<モデル事業>		
③ NPO法人SATOMORI	環境保全活動と次世代の環境教育	700,000
④ さが平野の自然を守る会	多布瀬川河畔公園に絶滅危惧種ミズアオイを!	300,000
<ネットワークづくり事業>		
⑤ NPO法人温暖化防止ネット	地域の脱炭素化促進に向けた基盤形成事業	1,000,000
<直轄事業>		
⑥ (一財) 日本環境衛生センター	佐賀市ごみ発電の地産地消学習支援プログラム	388,300

■ 令和5年度「佐賀市ごみ発電地産地消学習支援プログラム」

(荏原環境プラント 第6回e-さが基金による)

昨年度に引き続き荏原環境プラント(株)新電力事業課、佐賀市役所環境部環境型社会推進課、(一財)日本環境推進センター、佐賀未来創造基金の協働にて実施しました。

ごみ発電は、地域で発生した可燃ごみを焼却処理する際に発生する余熱を利用した発電であり、可燃ごみは、佐賀市内(児童生徒の日常生活等)から排出される一般廃棄物等で構成されており、児童生徒の生活から出たごみが発電の熱源の一部になっているという特徴を持っています。

特にごみを排出する際に行う分別は、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進や可燃ごみ処理の安定性等に加えて、ごみ発電電力の安定性にも関連性があるため、その仕組みを理解し、適切な分別行為によって地域エネルギーの安定供給に協力できることを理解してもらうことが重要です。

<ごみ発電学習プログラムの様子>



2023年度の活動報告 | 冠寄付プログラムによる助成事業



第6回 GOGOさがスポ基金による助成

「GOGOさがスポ基金」は2024年に佐賀県内で開催される国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会(全障スポ)を応援する佐賀新聞社のキャンペーン企画です。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① Popcandy新体操クラブ	県外遠征試合による強化事業	200,000
② 西与賀ジュニアバレーボールクラブ	西与賀スポーツクラブの継承事業	140,000
③ 佐賀市スケートボード連盟	佐賀市におけるスケートボード練習場の修繕事業	110,000



第5回 ばぶばぶ基金

佐賀新聞社が佐賀県と取組む子育て事業の一環で創設したもので、佐賀県内に設置され「佐賀県子育て応援自動販売機」の売上金の一部に加え、(一社)パチンコ・パチスロ社会貢献機構と佐賀県パチンコ・パチスロ店協同組合の共同助成で運用されています。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① (一社)かがみこどもプラザ	「ミライエ」の充実した運営継続のための事業	100,000
② わくわくぼっけ	「出会い・学び・保育」を柱とした地域活動と研修	100,000
③ 放課後児童クラブLab「チームSAGA」	第3回「SAGAで☆ただいま!ほうかご」	100,000
④ NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	居場所そらイベント事業	100,000
⑤ NPO法人きゃんどるはーと	音楽による子どもの成長支援事業	100,000
⑥ Querencia(ケレンシア)〜being with you	テーマカフェ	100,000
⑦ NPO法人スローLIFE	佐賀自然栽培農学校※	100,000
⑧ NPO法人ただいま	不登校の生徒のいのちのふれあい事業	100,000
⑨ (一社)Togatherland佐賀支部	発達障害支援グッズの開発・情報提供者に学ぶ	100,000
⑩ 佐賀プロジェクト農業部	収穫しよう! タネをまこう!	100,000

※ NPO法人スローLIFEは、事業完了払いを希望のため、当年度は未精算。



<贈呈式>

2023年11月6日、佐賀市どん3の森で開催された「ばぶばぶフェスタ」にて、贈呈式が執り行われました。

2023年度の活動報告 | 遺贈寄付プログラムによる冠寄付助成事業



第1回 鹿島レガシー基金

「鹿島レガシー基金～鈴子さんの想いをカタチに～」は、故中島鈴子さんが創設された遺贈寄付による冠基金です。日本舞踊の先生をされていた故中島鈴子さんの「地域にお世話になった恩返しをしたい」という思いから、鹿島市での踊りをはじめとした伝統芸能や、文化活動など地域づくりに取り組むCSO(市民社会組織)へ助成するものです。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① (株)総合スポーツユニオンブリュール鹿島	鹿島市の地域振興に関わる活動	60,000
② NPO法人日本鷹馬文化顕彰会	日本馬による鹿島の地域振興事業	240,000
③ PROJECT HAMA	肥前浜宿における空き家・未活用建物の調査事業	300,000
④ スタジオ有明の月	学級文庫「有明の月」出版	200,000

2023年度の活動報告 | 他団体との協働事業による助成事業



さが・こども未来応援プロジェクト 入学応援給付金プログラム

GCF(ガバメントクラウドファンディング)にて集まった寄付金をもとに、2024年高等学校等などに入学を迎える中学3年生を対象に、入学に伴う経済的負担軽減のための、返済不要の給付金を支給する「入学応援給付金プログラム」を実施しました。今年度は24名の方に2,400,000円を助成することができました。

<これまでの助成実績>

助成年度	助成金額	助成人数
2023年度	2,400,000円	24名
2022年度	5,300,000円	53名
2021年度	5,500,000円	55名
2020年度	6,000,000円	30名
2019年度	6,578,000円	43名
合計	25,778,000円	205名



➡ 入学応援給付金プロジェクト
(さがっこ基金) 特設ページ

https://saga-mirai.jp/2021/09/27/ouen_kyufukin/



■ 入学応援給付金の対象者

佐賀県内に住所を有する中学3年生で、高等学校等に進学を希望しており、次の①～③のいずれかに該当する方としています。

- ① 住民税非課税世帯
- ② 生活保護受給世帯
- ③ 新型コロナウイルスの影響により経済的に困難な状況にある世帯

2023年度の活動報告 | 他団体との協働事業による助成事業

2023年度 伝統工芸助成

当財団と「NPO法人ピースウィンズジャパン」(以下「PWJ」)の協働事業で実施しました。PWJは佐賀県で伝統工芸の支援活動として「ピースクラフツSAGA」プロジェクトに取り組んでいます。

佐賀県の伝統工芸を振興し、新たな分野への挑戦を促進することを目的としています。

今年度は6つの事業者を対象に、5月～12月までの期間で実施しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① 江口人形店(弓野人形)	土型保存のための石膏型への移行	250,000
② 岡野嵩平	電気窯の導入設置	500,000
③ 川上清美陶房(唐津焼)	展示場工房の出入口、引戸、窓の改修	250,000
④ 栗山商店(竹細工)	工房兼販売所整備と廃材を活用したSDGs商品	500,000
⑤ 副久製陶所(肥前吉田焼)	鑄込み生地をつくる場所の整備	500,000
⑥ 文翔窯(有田焼)	新看板設置と展示会出展	500,000



文翔窯



栗山商店

2023年度 佐賀ロータリークラブ未来人材奨学生助成

佐賀ロータリークラブ未来人材奨学金事業を本年度から受託しました。

この基金は、人格、学業ともに優れた生徒であって経済的な理由により就学困難な佐賀市内の高等学校に在籍する生徒に対して奨学金を給付し、もって社会に有用な人材を育成することを目的として、佐賀ロータリークラブにより設立されました。

佐賀県内の高校3年生が助成対象で、助成額は総額60万円(1人当たり12万円×5名)です。



(佐賀新聞)

【関連記事／佐賀新聞】(2023/8/3)

高校生5人に新設奨学金
佐賀ロータリークラブ創立70周年事業



佐賀新聞WEBサイト

<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/1084274>

【コラム】令和5年度 佐賀県子どもの生活実態調査が公開されています。

佐賀県内における子どもの生活状況や家庭の経済状況を把握し、今後の子どもの貧困対策施策の充実を図るとともに、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条に基づく「佐賀県子どもの貧困対策推進計画」の見直しを行うための基礎資料を得ることを目的として、無作為に抽出した県内の小学2年生の保護者、小学5年生、中学2年生、高校2年生の保護者及び児童(各学年とも約1,500世帯)を対象に調査が実施され、その結果が公開されています。



2023年度の活動報告 | 事業指定寄付プログラムによる助成事業



そらそら応援基金

長期間手つかずの空き家は、放火や不法侵入、ごみの不法投棄、犯罪の温床、まちの景観悪化、倒壊被害などの問題をはらんでいます。NPO法人「空家・空地活用サポートSAGA」は相談窓口などを開設し、佐賀県内の空き家と空き地の問題解決に取り組んでいます。

空き家を改修するなどして再利用し、高齢者や外国人、一人親家庭など住居を得ることが難しい社会的弱者の方への居住支援を行っています。また、空家・空地のある地域コミュニティにおいて発生する諸問題解決に関する事業を行い、地域活性化と不安解消に寄与しています。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	空家・空地の活用事業	1,130,000



映画「ら・かんぱねら」基金

地元有明海で海苔養殖という過酷な仕事の傍ら、テレビでフジコ・ヘミングさんの「ラ・カンパネラ」の演奏を観て、自分もこの難曲を弾きたいという夢が芽生え、無謀だ、絶対無理、との周囲の猛反対を押し切り、ピアノの練習を続けついに成し遂げた、音楽とは無縁だった52歳の佐賀の海苔漁師、徳永義昭さんをモデルにした映画製作を助成しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① 映画「ら・かんぱねら」を支援する会	映画「ら・かんぱねら」作成事業	19,539,300



本映画のモデル：佐賀の海苔漁師 徳永 義昭さん



主演：俳優 伊原 剛志さん

<本事業のスケジュール(2023年12月現在)>

【2023年】

○12月：海苔漁実景撮影、配給宣伝計画・上映計画協議

【2024年】

○1月：ロケハン(撮影地下見)、地元キャストオーディション、準備スタッフ佐賀入り

○2月：準備作業(地元業者との共同作業)、ボランティアスタッフ募集

○3月～4月：全スタッフ・キャスト佐賀入り、撮影開始記者会見、本編撮影

○5月～7月：編集、音仕上げ→完成

○秋：完成披露試写会

○冬：一般劇場公開



映画「ら・かんぱねら」を支援する会
<https://la-campanella.net/>

2023年度の活動報告 | 分野指定寄付プログラムによる助成事業



佐賀災害基金

2023年(令和5年)7月の豪雨により、佐賀県北部の山間地である唐津市浜玉町、七山、佐賀市富士町で大きな被害がでました。農林土木の被害額は360億円にものぼります。弊財団は佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)の一員として緊急支援寄付を受け付けると共に、支援団体に対して助成を行いました。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① NPO法人七山村づくり協議会	佐賀災害支援活動	730,000
② 一般社団法人 おもやい	佐賀災害支援活動	400,000
③ NPO法人つながりレングラ	佐賀災害支援活動	200,000
④ 被災地支援チームOKBASE	佐賀災害支援活動	100,000
⑤ NPO法人Wed	佐賀災害支援活動	100,000
⑥ NPO法人ソシオの杜	佐賀災害支援活動	50,000
⑦ 縁ジョイ防災	佐賀災害支援活動	50,000



佐賀災害基金（令和6年能登半島地震支援）

令和6年1月1日、石川県能登地方で発生した震度7を観測した地震は、地域に甚大な被害をもたらしました。

私たちは、佐賀県内の災害支援団体と連携し、令和6年1月2日には現地支援にゆく団体への応援活動を行い、令和6年1月7日には佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)などと連携してメンバーを現地に派遣しました。

助成団体名	助成事業名	助成金額 (円)
① 一般社団法人 おもやい	能登半島地震支援／石川県七尾市	180,000
② 被災地支援チームOKBASE	能登半島地震支援／石川県七尾市・珠洲市など	100,000
③ 建築プロンティアネット	能登半島地震支援／石川県七尾市、石川輪島市	100,000



(一社)おもやい
石川七尾市 /コミュニティセンターを拠点とし、避難所での被災者の方への物資の配布、給水支援などの環境整備



被災地支援チームOKBASE
石川七尾市・珠洲市など/活動拠点や避難所における足湯、ハンドケアによる関わり、現調によるニーズ調査を通した被災者支援



建築プロンティアネット
石川七尾市、石川輪島市/建築相談会の開催、被災建物の現地調査実施。七尾市高階地区で6軒の住まいを訪問、被害状況の調査や補修、制度のアドバイス

2023年度の助成実績

◆ 冠寄付による助成実績

荏原環境プラント「第6回 e-さが基金」

助成団体名	助成金額(円)
団体一覧は4ページに記載	3,038,300

(株)佐賀新聞社「第6回 ばぶばぶ基金」

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	1,000,000

◆ 分野指定寄付による助成実績

佐賀災害基金

助成団体名	助成金額(円)
詳細は9ページに記載	1,630,000

◆ 事業指定寄付による助成実績

そらそら応援基金

助成団体名	助成金額(円)
詳細は8ページに記載	1,130,000

◆ 他団体との協働事業による助成実績

入学応援給付金プログラム

(一般社団法人 さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会)

助成団体名	助成金額(円)
詳細は6ページに記載	2,400,000

◆ 日本財団 2023年度「子ども第三の居場所」事業

佐賀県における「子ども第三の居場所コミュニティモデルの運営支援事業

概要は3ページに記載

(株)佐賀新聞社 第5回「GOgoさがスガ基金」プログラム

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は5ページに記載	450,000

第1回 鹿島レガシー基金

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は6ページに記載	800,000

佐賀災害基金(令和6年能登半島地震支援)

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は9ページに記載	380,000

映画「ら・かんぱねら」基金

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は8ページに記載	19,539,300

伝統工芸助成

(特定非営利活動法人 ピースウィンズ・ジャパン)

助成団体名	助成金額(円)
助成団体一覧は7ページに記載	2,500,000

助成団体名	助成金額(円)
① NPO法人空家・空地活用サポートSAGA	7,200,000
② (一社) かがみこどもプラザ	4,125,600
③ (一社) キラキラヒカル	5,300,304
④ (一社) ここてらす	5,322,902
	21,948,806

2023年度 視察受入実績

2023年度、当財団の取り組みや事業について、全国から6件の視察を受け入れました。

- 2023年4月12日 株式会社ファインみんなの後見センター様
- 2023年7月4日 鹿児島県民交流センター様
- 2023年9月5日 中国吉林大学・山东大学様
- 2023年9月26日 酒田市産業振興まちづくりセンター長様
- 2023年11月7日 滋賀県議会厚生・産業常任委員会様
- 2024年1月26日 社会福祉法人江東区社会福祉協議会様



2023年 助成団体レポート



各種助成事業において助成を行ったCSOに対し、活動の実績や今後の抱負、並びに寄付者様への感謝のメッセージ等をインタビューによる聞き取りを行い当財団ホームページ「ご寄付の活かされ方」として公開しています。
ここでは、2023年度に公開した記事をご紹介します。



NPO法人
ATLETICO VIVO SAGA



特定非営利活動法人
消費生活相談員の会さか



佐賀県フェンシング協会



シニアネット佐賀



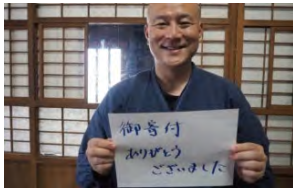
浅海干潟環境学lab



NPO九州さがプロジェクト



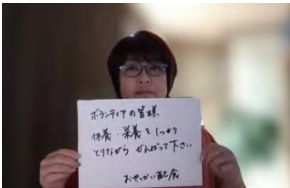
さが山の学校



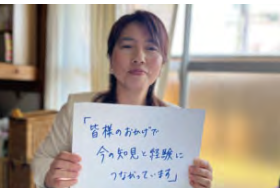
特定非営利活動法人 アスタ



Popcandy新体操クラブ



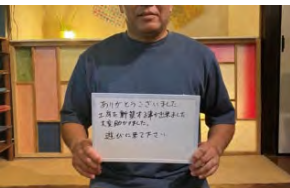
チームおせっかい配食



おかえりや



佐賀県バスケットボール協会



名尾手すき和紙 株式会社



西与賀ジュニアバレーボールクラブ



NPO法人WeD



NPO法人ようこそ小城



佐賀ジュニアスキーチーム



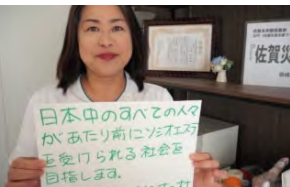
被災地支援チームOKBASE



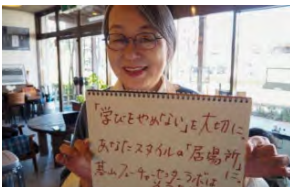
特定非営利活動法人
つなぎレンガ座



特定非営利活動法人
七山むらづくり協議会



NPO法人
ソシオの杜(もり)



基山フューチャー
センターラボ

2022年度の会計報告

正味財産増減計算書

(単位:円)

(1)経常収益	
基本財産運用益	60
基本財産受取利息	60
特定資産運用益	417
特定資産受取利息	417
寄付金振替額	62,894,246
事業指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	22,896,140
分野指定寄付振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	7,313,464
冠寄付振替額	8,870,955
基金応援寄付振替額(事業指定・民間助成金振替含まず)	20,596,490
ふるさと納税寄付振替額(事業指定・分野指定寄付振替含まず)	3,217,197
事業収益	3,611,430
受託事業	3,611,430
受取補助金等	28,112,430
民間助成金振替額(ふるさと納税・応援寄付振替含む)	28,112,430
雑収入	260,435
受取利息	135
雑収入	260,300
経常収益 計	94,879,018

(2)経常費用	
事業費	90,680,939
①社会的課題解決及び新しい価値の創造のための事業を行う市民社会組織、企業及び個人並びに日常生活又は社会生活を営む上で困難を有する者の支援に必要な資金等の資源を募り、確保する事業	5,614,373
②CSO、企業等及び社会的弱者に対する助成、顕彰、報奨、融資、債務保証及びその他必要な資源を提供する事業	35,550,602
③社会的課題解決及び新しい価値の創造のために、地域の動産、不動産などの資源の利活用及び運用に関する相談、コンサルティング事業	2,566,384
④CSO、企業等の組織基盤強化のための人材及び組織の育成事業	2,971,174
⑤CSO、企業等、社会的弱者及び資源提供者に対する相談、コンサルティング事業	2,574,624
⑥社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する普及啓発及びセミナー事業	3,063,266
⑦社会的課題解決及び新しい価値の創造に関する調査研究及び情報発信事業	3,294,737
⑧社会的課題解決及び新しい価値の創造のための県内外の各関係支援機関との連絡調整及びネットワーク構築並びにこのネットワークを活用したコレクティブインパクト事業	4,102,918
⑨CSO、企業等及び社会的弱者の支援に関する受託事業及び補助事業	30,942,858
管理費 法人の管理運営に係わる経費	4,409,495
経常費用 計	95,090,434
当期経常増減額	-211,416

貸借対照表

(単位:円)

(1)資 産		(2)負 債	
流動資産	25,237,237	流動負債	5,167,310
現金	99,798	未払金	159,282
預金	24,026,009	短期借入金	4,160,000
未収金	1,111,430	未払消費税	0
固定資産	77,237,593	預り金	848,028
①基本財産(県民の皆様からの寄付による設立時資産)	3,000,750	仮受金	0
②特定資産(寄付受入預金)		固定負債	20,160,000
寄付受入預金	72,840,338	長期借入金	20,160,000
助成金受入預金	1,236,652	負債合計	25,327,310
建物	62,000	(3)正味財産の部	
③その他の固定資産		指定正味財産	77,139,740
器具備品	97,853	一般正味財産	7,780
資産合計	102,474,830	正味財産合計	77,147,520
		負債及び正味財産合計	102,474,830